

平成 22 年度 地方公共団体定員管理研究会（第 4 回）

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成 22 年 12 月 27 日（月） 16：00～17：30
開催場所：総務省内会議室
出席委員：西村座長、浅羽委員、松森委員、三上委員、三宅委員

2. 議事経過

- (1) 定員管理に関する参考指標の検討
- (2) 各地方公共団体における定員に関する公表のあり方

3. 意見交換の概要

【参考指標】

- 参考指標は、団体の総職員数を他団体と比較するなど住民にわかりやすく説明するための観点と、人事配置や部門毎の定数管理など行政内部において検討を行うための観点から、役割を整理して地方公共団体に情報提供するのが良いのではないかと。
- その際、住民への説明に活用が期待される指標としては、「類似団体別職員数（単純値）」と「定員回帰指標」が、行政内部における検討に活用が期待される指標としては、「類似団体別職員数（修正値）」と「定員モデル」が考えられるのではないかと。
- 定員モデルの説明変数については、多重共線性の排除を十分考慮するとともに、年度によって変動が極端に大きい変数を採用しない等の精査がさらに必要ではないかと。
- 参考指標は、職員数の現状を示す目安であり、“あるべき”数値ではないことに留意が必要である。
- 各地方公共団体が参考指標を活用し、定員管理を推進する際には、「住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」が、必ずしも定員が少なければ少ないほど望ましいわけではなく、それぞれ地域の実情に応じて、主体的に判断を行うよう留意が必要である。

【公表のあり方】

- 既存の「給与情報等公表システム」における定員管理情報の詳細な開示とともに、定員の現状を図式化してわかりやすく示すことも重要である。
- 図式化については、「職員数の現状と取組シート」を現在試行中であるが、より住民にわかりやすいものとなるよう、採用する指標について更に検討が必要ではないかと。また、人事管理全体を説明する新たな方法も検討してみてはどうか。